



- ★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
- ★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。

2022-23年度活動テーマ「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

### 常総生協まつりのイベント情報

## 10月28日（土）に開催予定の常総生協まつりでは、 皆さんが楽しめるイベントを準備しています。

お馴染みの「スタンプラリー」では、出店してくださった生産者さんと楽しくお話し、スタンプを集めたら、ガラポン抽選で、ステキな商品がもらえます！生協まつりならではの豪華賞品もありますので、お楽しみに！  
そして、もう一つは、絵本を出版された組合員さんのトークイベントです。

2021年5月、生協本部にて、ミャンマーの勉強会を開催した際に、講師をしてくださった荒木さんご夫妻が、絵本「しあわせのまよいねこ」(日本地域社会研究所)を出版されました。昨年、第10回絵本出版賞絵本部門で「出版奨励賞」を受賞された絵本です。お二人の出版に至ったミャンマーへの願い、平和への想いと共に、絵本のストーリーに託された想いを伺いたいと思います。なお、トークイベントは11時と13時の2回、絵本の販売も予定しています。(ご希望の方には著者のサインもお受けします)

平穏な日々の暮らしと平和を願って皆様と折ってつなげた千羽鶴のお礼にミャンマーのハンドメイドであるマングレー刺繍の作品が送られてきました。来場者の皆様に見ていただける様に、展示します。また、絵本の感想、平和への願いを込めたメッセージをミャンマーへ届けたいと考えています。お買い物はもちろん、見て、聞いて、知って、つながる事ができる常総生協まつり！皆様のご来場を心よりお待ちしております。



### わたくりブースもあります！



今年の生協の綿



### 2023年10月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
<p>○「常総っ子応援団」ゴンタで遊ぼうin流星台プレイパーク ※毎週木曜日に外遊び活動をしています！</p> <p>・10/14(土)清水農園援農交流会 ・10/18(水)生協まつり実行委員会 ・10/21(土)平和の集い「歴史を学ぼうー未来のために」講座 ・10/25(水)定例理事会 &amp; 生協まつり実行委員会 ・10/28(土)生協まつり</p>	<p>・10/28(土)～29(日)光風台まつり</p>

## ■りんごの美味しい季節の 到来です♪

暑い季節がやっと過ぎました。

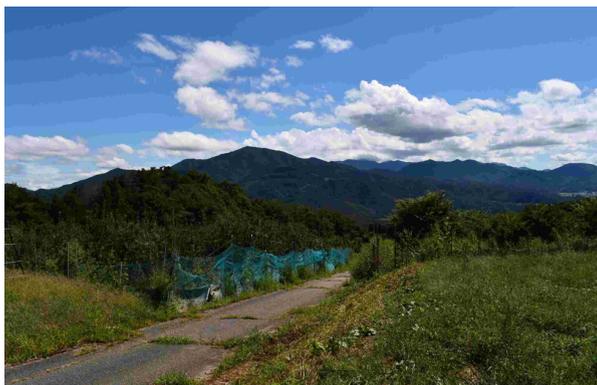
「60年に一度」と言われる酷暑。近年稀にみる過酷な夏を、生産者もりんごも頑張って乗り切りました。

ただ、やはり樹（木）や実へのダメージも例年になく多い年でした。

収穫の時期を迎えるにあたり、昨年から常総生協にりんごを出荷頂いている、長野県・麻績（おみ）村の「はなうた家」の谷口さん夫妻からお手紙を頂きましたのでご紹介します。

谷口さんは元常総生協の組合員です。2018年に当地に移住し、研修期間を経て新規就農でりんご園を営んでいます。（商品部柿崎）

.....



標高約800mのりんご園とアルプスの山々

茨城県に暮らしていた頃、常総生協さんは生活を支えてくれる大切な存在でした。ずっとお世話になっていた常総生協さんと、今度はこうして生産者として、また繋がることができ、本当に嬉しいです。

私たちは、肥料を使わずにりんごの木自体が作り出すホルモンの活性化に着目し、木そのものに優しく育ててもらえるよう試行錯誤しています（硝酸態窒素の問題をクリアしたい）。

ネオニコチノイド系農薬はもちろん不使用ですが、その他の薬剤もできるだけ化学合成されていない環境に優しい種類に置き換えています。

また本年度から「葉摘み」をやめました！見た目より味重視のためです。

葉摘みは、収穫前にりんごの周りの葉っぱを摘みとってりんごに太陽光を当て、より赤く、見た目良く、市場価値を高めるために行います。

しかし、葉っぱは光合成や呼吸をして、養分を蓄えるために植物にとって大切な「カラダ」です。

はなうた家では、冬に自然に落葉するまでは葉っぱを残し、見た目より味、りんご自体の健康を重視した栽培を目指すことにしました。

見た目は色むらがあるものがありますが、食味は自信を持ってお届けします。

今年は黒星病に悩まされましたが、無事になんとか実りをお届けできることが、とても嬉しいです。

安心安全な美味しいりんごで、たくさんの方の笑顔と健康のお手伝いをしたい！そんな想いで励んでいます。

常総生協さんには、素晴らしい生産者さんが揃っていて、わたしたち若輩者は緊張もしますが、精一杯頑張ります。

これからもどうぞ宜しくお願い致します。

はなうた家 たにぐち



谷口真利さん（左）と知（さとる）さん

10月4回【8番】  
りんご  
(シナノスイート)



## 組合員と生産者と職員のひろば（その2）

### ■この夏も乗り切った！ 小林さん、大倉さんにエールを！

はなうた家さんのほかにも、毎年秋に常総生協に美味しいりんごをお届けしてくれる生産者がいらっやいます。

続いて、同じ長野でりんごを栽培する、この道約40年のベテラン小林さん（中野市）、若きりんご農家 大倉さん（安曇野市）をご紹介します。

#### ■小林裕明さん（長野県中野市）



園主は小林裕明（こばやし・ひろあき）さん。代々続く農家で裕明さんは12代目。果樹栽培は御祖父さんの代からです。作付面積は約2ha（町歩）。主要な作付品目は、りんご9反、桃8反、サクランボ7畝。ただサクランボは残念な

がら今期で終了。「ここ数年、気候が変わってしまったのか、サクランボがほとんど実らないのです。楽しみにしていた組合員さんにも迷惑かけて申し訳なかったです」と小林さん。サクランボの後には、気候や今後を見通した別の作物を栽培予定で現在思案中とのこと。気候も世の中も激変している中、次を見据えていました。

#### （りんご栽培）

農薬は当地の慣行栽培より減。ネオニコ系は8年前から不使用です。除草剤も不使用で、園地は草刈りします。化学肥料も不使用。成育状況に応じて自家製たい肥を与えます。

しかし「2019年の水害を境に、収穫量や作柄がかなり厳しくなった」と小林さん。水害→霜害→水害。この頻度が年々高まっているとのこと。また「今年の紅玉は「炭疽（たんそ）病」（果実の表面が黒くなり陥没する病気）が多い。かなり廃棄しています。通常は殺菌防除を複数回実施しますが、うちはかなり減らしているのでロスが多いです」と小林さん。

生食出荷は難しいのですが、加工して美味しく食べられるりんごを小林さんは「乾燥りんご」にしています。常総生協でも人気で、昨シーズンは茨城ベーグルさんに持ち込み「小林さんの干しりんごベーグル」として新登場しました。生食も加工も。「園地まるごと」今期もありがたく頂きたいと思います。小林さんへのおたよりと

「はねだしりんご、加工のアイデア」もお待ちしております。



#### 10月4回【12番】 長野・小林さんの紅玉

#### ■大倉宗一郎さん（長野県安曇野市）



大倉宗一郎（おおくら・そういちろう）さんは28歳。20歳の時に農業試験場でりんごの技術体系を学び、先代の父・正義（まさよし）さんから園を引き継ぎました。作付総面積は約2町歩（約2ha）。りんご専門で、多様な品種を時期に応じて出荷します。

農協（市場）への出荷は無く生協出荷がメイン。理由は、市場では味ではなく、等級（見た目）＝収入になってしまうから。「やはり見た目はイマイチかもしれないけど安全で美味しいりんごを食べてほしいです」と大倉さん。

#### （りんご栽培）

「今年は霜の被害がありましたが、何とか例年通りの収穫見込。そうであっても毎年70%が生食で、30%は加工用。もう少し生食出荷を増やしたいです」と大倉さん。ネオニコ系農薬は無し。もちろん化学肥料も無し。

「今年は芯かびも多い」と大倉さん。芯かびは、果実が小さいうちに菌が果実中央部（種の周り）に入り繁殖。判別は、周りがまだ青いうちに赤くなってくるのでわかるが微妙。大丈夫な場合もある。最終的には収穫後の選別で除外するしかなく、指でりんごを軽くはじき「音」で選別します（すごい！）。「芯かびは中に空洞ができやすいので重い音に。問題ない果実は中が詰まっているので高い音です」と大倉さん。

また、味を重視したいので「葉取らず」は長年継続。りんごの表面が赤いところや薄いところがありますが、味は良いりんごが育ちます。

面積（規模）は拡大しないで少しずつ樹を改植中。「5年後には雰囲気は変わっていると思いますよ」と大倉さん。

若きりんご生産者に、常総組合員からエールを！

#### 10月4回【11番】 大倉さんの紅玉



**おうち時間を使ってできる、集めて送って国際協力！**  
**ご家庭に眠っている書損じハガキや商品券などを送ってください（専務理事 伊藤）**

「誰もが安心して食べられる世界へ」をテーマに世界飢餓の問題に対して取り組んでいるNPOハンガー・フリーワールドという団体が、今年の6月に常総生協に来協し、私たちが出来る世界飢餓に対しての活動を提案していただきました。お話を聞いて、世界中の資源を消費している私たち日本人は色々考えさせられる事が多く、「食品ロス」も含めて、世界飢餓は他人事ではなく、自分事なのだ改めて感じました。世界規模の話はスケールが大きいですが、私たちは確かに世界とつながっている。出来る事を出来るところからという意味でも、今回の「書き損じハガキ回収キャンペーン」に一緒に取り組んでいきたいと思えます。

組合員の皆様のご協力、お願い致します！

**〇ハンガー・フリーワールドとは？**

ハンガー・フリー・ワールド（HFW）は、飢餓のない世界をめざして活動する国際協力NGOです。心も身体も健康に生きていくために必要な食料を自らの手で得られることは、人間のもっとも基本的な権利のひとつ。HFWは、この「食料への権利」の実現のために、住民の自立を支援しています。

※今年、NGOからNPO法人へと変わりました。

**〇集めているもの**

- 書損じ・未使用ハガキ（郵便ハガキ、年賀ハガキ）
- 未使用切手 ※日本と中国のみ。
- 使用済切手
  - 国は問わず。小袋等で未使用と使用済み分けただけだと助かります。
  - 切手は周りをざっくりと切ったもので大丈夫です。
- 商品券 ※収入印紙、古いもの、地方限定のものも可。
- ブルーチップ、グリーンスタンプ
  - 切手サイズ・商品券サイズも可。ブルーチップとグリーンスタンプは分けただけだと助かります。
- 外国紙幣 ※外国硬貨は集めていません。
- 未使用テレホンカード・プリペイドカード
- ※使用中、使用済みは集めていません。
- 中古CD、DVD、ゲームソフト
  - シングルCDや雑誌の付録、破損品、録画・記録用ディスクは除く。ケースや説明書のある市販品が対象です。
- ダイヤ・金・銀・プラチナ製貴金属
  - 金歯、石・真珠付、一部分、破損品も可です。
- Tポイント
  - Yahoo! ネット募金を通じて1ポイントから。有効期限間近の期間固定ポイントがありましたら、お役立てください。※「[Yahoo! 飢餓のない世界を創ろう募金](#)」で検索！右のQRコードからでもサイトにいけます。



**〇協力の仕方**

今回商品カタログと一緒に「回収キャンペーンのチラシ」と「回収専用封筒」を配布しています。「回収専用封筒」に以下の回収している物を同封してハンガー・フリーワールド宛に郵便ポストへ投稿してください。期限は11月末までです。